

## 「羅針盤」vol.21

校長 白岩博明

この一年間を振り返るときに・・・

25日(月)の全校朝礼前、校門前に立って生徒に挨拶をしながら今日の朝礼で何を話そうかなあと考えていました。すると、ここ数日いつもより早めに登校する高校1年生の男子生徒がいたので、「どうしたの?」と尋ねると、「定期試験が近くなったので、早めに登校して自習するんです」とのことでした。少して、高校1年生の女子生徒、続けて高校2年生の女子生徒が登校してきました。この二人の毎日の挨拶は実に気持ちがいい。目を合わせ、ほどよい笑顔とほどよい声のトーンで「おはようございます」。そうだ、4月に話したことを改めて話そうとこの3人の表情を見て決めました。

4月22日(月)の全校朝礼で、「『時間を守ること 挨拶をすること 友だちを大切にすること』の3つを意識することは人として最低限必要なことだ」と思う。私のこれまでの経験から思えることでもあるが、小学生だろうと、中高生だろうと、大人にとっても自分を育む上において意識することや為し得ることは意味あることだ」と話しましたが、このときを思い出しながら壇上に立っていました。ここからは朝礼時の言い回しのおりを記します。



今年度のオープンスクール、挨拶の中で使った漢字1字。第1回が「徹」(する)、第4回が「変」(える・わる)。

気が付けば今年も残すところ1か月になりました。時間の経過は本当に早いものです。早く感じるのは日々が充実しているどうかによるらしいとか…。これまでになく、今年の私は充実していました。さて、本年4月、新たな学校、修大ひろしま協創中高としてスタートしたわけですが、その頃に私が話したことを記憶していますか。「時間を守ること」、これはルールを守ることや時間を有効に使うということは良い習慣をつくることにもつながることです。「友だちを大切にすること」、同様に仲間を大切にすることですが、人はひとりでは決して生きていけません。家族や仲間など、必ず誰かの手助けがあるはず。他者を粗末にすることがあってはなりません。「挨拶をする」ということにも関係することです。どなたかに支えられているからということに心がけて生活することは、他者をリスペクト(敬意)することにつながり、感謝の気持ちを示すことにつながっていきます。軽く会釈すること、言葉を発すること、きちんとお辞儀をすること。いろいろな挨拶の仕方がありますが、挨拶が自然とできることは素晴らしいことだと思います。その人の意志と他者への敬意と感謝の表れなのだと思います。

17年前まで、私は広島工大高校で18年間サッカー部の指導をしていました。当時も私はこれら“3つのこと”を言い続けてきましたが、生徒自らで実践しようと取り組んだ年代がありました。彼らは公式戦で皆実高校を破ったのです。サッカーの技術もさることながら、精神面の充実もあったからこそその快挙だったのです。シンプルな“3つのこと”ですが、備えることで気持ちが整えられるのだと確信できた出来事でした。

以前にも触れましたが、“3つのこと”、とくに「友だちを大切にすること」、「挨拶をすること」は建学の精神である「報恩感謝・実践」に通ずることだと思っています。みなさん、是非とも心の中に留めおいてください。

繰り返しですが、あと1か月で2020年となります。今年のやり残しがないように過ごしましょう。終わります。